

内閣府大臣政務官 自見 はなこ殿

## 教育・保育施設・学校事故の再発防止に関する要望書

一般社団法人 吉川慎之介記念基金  
代表理事 吉川優子

9月5日、静岡県の幼稚園の送迎バスの中に取り残され、3歳の女の子が死亡するという大変痛ましい事故が発生しました。昨年7月に福岡県の保育所でも、全く同様の死亡事故が発生していましたが、教訓はいかされませんでした。4月には、広島県の保育所で、保育中に行方不明となった園児が川で亡くなるという事故も起きております。

平成28年(2016年)4月、内閣府「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」、文部科学省「学校事故対応に関する指針」の導入から5年が経過し、教育・保育施設・学校現場の安全に関する取組が前進している一方で、残念ながら事故が繰り返される現状も続いております。

教育・保育施設・学校事故の再発防止に関する取組について下記の通り、要望いたします。

子どもの命を守り育む社会になることを、心から願っております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

### 記

1. 内閣府「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」、文部科学省「学校事故対応に関する指針」の見直し、改訂
2. 1のガイドライン・指針の幼保一元化
3. 送迎バス事故をはじめ、熱中症、窒息、溺水、転落等、重篤な傷害リスクの高い事故に関する具体的な安全対策強化について、モニターやセンサー等設置の義務化
4. 教育・保育施設に関する人材不足解消(適切な加配)、人材育成※、施設設備の改善
5. 保育・学校事故・子どもの重大事故検証、死因検証制度の促進

※保育士養成校、教職課程などでの安全教育及び現役保育士・教員らの安全危機管理研修等の拡充

以上